体験レポート

令和6年8月23日(金)実施
＜実習内容＞
- 小型充電式電池等の回収
- 小型充電式電池の絶縁作業

小型充電式電池の危険性

小型充電式電池…リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、ニカド電池など

小型充電式電池は、破損、変形により発火する危険性があり、東京23区内では、実際に小型充電式電池による火災が発生していたことを知りました。

スマートフォンのモバイルバッテリーや小型扇風機等の発火も内蔵されている電池が原因です。

小型充電式電池を処分する際は、中野区役所、リサイクル展示室に設けられている回収ボックスでも収集しています。

私が回収を行った際、回収ボックスに多くの電池が集まっていました。このように、区民の方々の協力によって、中野区の安全が守られていることを実感しました。

▲回収された電池

小型充電式電池の絶縁

絶縁…電池のプラス極とマイナス極にテープを貼り、電流が流れないようすること

電池の電極同士が触れ合い、電流が流れることを妨ぐため、絶縁を行ってから回収ボックスに入れなければならないことを学びました。

絶縁されていない電池は、全て職員が手作業で絶縁を行っていることを知りました。

▲絶縁済みの電池